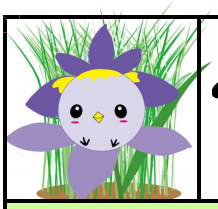

吉子川

令和７年５月２２日（木）
学 校 だ よ り NO. 16
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】
〇あかるく たくましい子ども （体）
〇やさしく おもいやりのある子ども（徳）
〇めあてをもって がんばる子ども （知）

【よしコッピ】
吉子川小学校のあやめの花に住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの十か条（5月）
きまり、ルールは守って当たり前
落ち着いた環境で高まる集中力

◇ SNSと共に生きる子どもたち ◇

一学期が、半ばを迎えました。入学し進級したあの時から、はや二か月が経とうとしています。いろいろな知恵も育ち、友達との行動範囲も広がっていることと思います。そのような中、子どもたちにさまざまなかたちで影響を及ぼし、大人として心配な気持ちになるのが、子どもたちを取り巻くSNS環境です。

現代社会はSNS環境が発達し、さまざまな情報が飛び交う時代になりました。保護者の中にも、SNSを使った仕事に携わったり、SNSからの情報を活用しておられたりする方も多くいらっしゃることと思います。今では、私たちの生活も、SNSに頼ることが多く、私たちの生活に無くてはならないものとなっています。このようなSNSが身近で普通に存在する中で生きる子どもには、SNSは特別視するものではなく、生活の一部となっています。現に、本校でも一人一台端末でタブレットが中島村から貸し与えられて授業において使うことが普通になっていますし、今後は家に持ち帰って家庭学習でこのタブレットを使うこともあります。今となっては、このSNSと私たちの関係は、断ち切ることができないものになりました。

SNSは、子どもたちが生まれた時から存在していますし、小さい時からさまざまな情報機器を触ったり活用したりして育ってきています。しかし、便利な反面、使用には危険も多く、スマホを所持するのは中学生でも早いと、専門家は注意を呼びかけています。本校にもスマホを所持している子どもがおり心配しています。学校では、SNSの危険性を踏まえ、「情報機器の正しい使い方」や「情報モラル」などを授業に位置付けて、これからの情報化社会に生きる子どもに正しい知識と実践力を身に付けさせる取り組みをしているところです。

保護者の皆様は、ぜひ、お子様のスマホの内容をご覧ください。お子様が使っている情報機器の使用状況を確認してください。我が子に限ってと思うかもしれませんが、知らないうちに危険に巻き込まれてしまっていたり、犯罪の影が見え隠れする状況に引き込まれてしまっていたりする場合もあるかもしれません。LINEの文面を見てショックを受けた保護者の方もいると聞いています。お子様の状況を把握し、問題が起こる前に静止できるのは、保護者の皆様しかおりません。お子様によっては、スマホや情報機器の内容を親に見せたくないと言うかもしれません。しかし、それに怯んではいけません。我が子のことだからこそ、我が子の状況を把握し、我が子を守ってあげてください。学校では、仲間を思いやり、自他ともに気持ちよく生活でき、健全な成長が図れるように指導を重ねております。今後もさまざまな場面を通してこれらの指導を繰り返すと共に、情報モラル教育を一層推進してまいります。SNSが普通の時代に生きる子どもたちには、正しい知識をもち、正しく情報機器を使い、次代を築いていって欲しいと願っています。保護者の皆様におかれましては、家庭でのルールを再確認していただくとともに、正しく使うことができるよう言葉がけをお願いいたします。

◇ ついに 333枚に到達しました ～吉子川の四つ葉～ ◇

五つ葉や六つ葉、
七つ葉もありました！